



A.A.M.T

秋臨技 だより

第85号

第85号

発行所
〒010-0013 秋田市南通築地1-1
ファーストワン築地2A
TEL・FAX:018(825)2116
E-mail:aamt-01@comet.ocn.ne.jp
(社)秋田県臨床検査技師会事務所

発行人 佐藤 寛
編集主幹 佐藤 義暢
印刷所 石岡印刷所
電話 018(884)4771

新会長よりご挨拶



(社)秋田県臨床検査技師会

会長 佐藤 寛

5月の総会において阿部毅前会長の後任として役員推薦委員会からご推挙いただき、平成23・24年度の会長に就任させて頂くことになりました。技師会の経験が長く指導力のあった前会長に比べるもなく微力な私ですが、会員の皆様が技師会に入っていてよかったですと思えるような事業を、新任14名を含む25名の執行体制で展開していきたいと思えます。

東日本大震災から半年を過ぎても被災地の復興状況はかなり厳しいものがある中、秋臨技は東北各県技師会と歩調を合わせて支援を行っていく予定です。具体的には被災地の検診活動に会員を派遣することになりますが、その最初の派遣が9月24日と25日の両日、岩手県釜石市での検診活動となりました。秋臨技で十分な手当ができない中、積極的に参加して頂いた会員の皆様に対しまして感謝の意を表したいと思います。今後も被災した県からの派遣要請があればその都度会員の皆様へお知らせ致しますので、ご協力をお願い致します。(今回は急な依頼のため役員間の連絡で派遣者を選出しました)

これからの秋臨技のすべての行事は公益性を高めることが必要となります。これは新しい公益法人への移行と大きな関係があり、今後避けては通れない事柄です。6月の「がんささえ愛の日」、8月の「21世紀の医療を守る会」、9月の「ピンクリボンキャンペーンinAKITA」などの関係団体との交流もその一つですが、自ら行う行事も公益性を高める工夫とアイデアが求められます。

100%公益性をということではなく、例えば「秋臨技だより」を公的な機関へも配布する、各検査部門の研修会を一般にも公開する、県学会の一般公開率をもっと高めるなど、今後の行事に少しでも公益性を高める配慮が必要になります。会員の皆様には今後の行事でその変化が体感できるものと思えますのでご期待下さい。

今年度はもう折り返し点を過ぎました。残った期日に色々な行事が計画されております。10月の横手市での県学会、11月の生涯教育研修会、福利厚生事業、健康と臨床検査展、12月の創立60周年記念事業などですが、会員・賛助会員・メーカーの皆様の参加とご協力をお願いし会長就任のご挨拶にしたいと思います。

平成23年5月21日に開催された通常総会において平成23年24年度の新役員が選任承認されました。

平成23年 24年度(社)秋田県臨床検査技師会役員

	役員名	氏名	所属施設
事務局 学術部長 県北支部長 〔秋臨床技大〕編集長	会長	佐藤 寛	市立秋田総合病院
	副会長	藤田 秀文	仙北組合総合病院
	副会長	遠藤 正志	雄勝中央病院
	副会長	太田 和子	大館市立総合病院
	常務理事	高山 洋子	秋田大学医学部附属病院
	常務理事	佐藤 尚之	仙北組合総合病院
	理事	清水 盛也	山本組合総合病院
	理事	佐藤 義暢	北秋田市民病院
	理事	奈良 悦子	能代山本医師会病院
	理事	川上 登	かつの厚生病院
収入会計	理事	貝田 奈津子	市立秋田総合病院
	理事	小山田 一	秋田大学医学部附属病院
	理事	佐藤 慶子	秋田赤十字病院
	理事	藤田 郁子	秋田組合総合病院
会計部長(支出会計)	理事	熊谷 優子	秋田県健康環境センター
	理事	齋藤 敦	秋田県総合保健事業団 児桜検査センター
中央支部長 ホームページ管理	理事	久保田 政昭	社会医療法人明和会中通総合病院
	理事	渡部 満則	雄勝中央病院
県南支部長	理事	高橋 稔	公立角館総合病院
	理事	武石 茂美	平鹿総合病院
由利支部長	理事	後藤 利明	平鹿総合病院
	理事	菊地 孝哉	由利組合総合病院
	理事	武田 亮	由利本荘医師会病院
	理事	佐藤 峯子	五十嵐記念病院
	監事	浅野 美也子	湖東総合病院
	監事	佐藤 宏悦	非会員
	監事	石郷岡 清基	会員

平成23年度 (社)秋田県臨床検査技師会学術部門長

	部門	名前	施設
1	生物化学分析検査部門長	長谷川 拓也	能代山本医師会病院
2	生理機能検査部門長	渡部 多佳子	秋田赤十字病院
3	病理検査部門長	田山 明義	秋田赤十字病院
4	一般検査部門長	貝田 奈津子	市立秋田総合病院
5	血液検査部門長	松橋 博之	市立秋田総合病院
6	感染制御部門長	小林 則子	秋田大学医学部附属病院
7	輸血移植検査部門長	二部 琴美	秋田県赤十字血液センター
8	検査総合管理部門長	関谷 智理	藤原記念病院

新公益法人制度移行の情報

① 経緯

国の法人に関する制度が変わり、平成25年11月までに現行法人から新一般法人か新公益法人に移行しなければなりません。秋臨技は平成19年3月の総会で移行に対する検討委員会の立ち上げが承認され、その委員会でどちらを選択するかの具体的な事柄が検討されました。1年後の平成20年3月の総会でその検討結果が報告され、結論として新公益法人を選択する旨の議案が提案されました。審議の結果満場一致で新公益法人の取得を目指すことが承認され、秋臨技の新公益法人への移行が決定されました。その後今年5月の決算総会において申請手続きを吉川税理士事務所(秋田市)に依頼し、その経費100万円を計上することが承認されました。

② 進捗

吉川税理士事務所のリードで、秋臨技が行っている各種事業に対する公益性の精査を行い、合わせて定款の変更が必要なため新しい定款を作成中です。秋田県が行っている個別相談会にも参加し、申請への準備を整えているところです。

③ 今後の見通し

会計処理の変更等などを行い、平成24年の夏から秋にかけて県への申請を行い、新公益法人の認定を目指す予定です。

平成23年度春の叙勲について

長年に渡って秋臨技のみならず東臨技、日臨技役員も歴任され、技師会に多大な貢献をして頂いた菊地一正元会長(名誉会員)が瑞宝双光章を受章されました。6月25日叙勲受章における県の伝達式(写真)と、7月5日皇居における拝謁に参列しております。今後も技師会発展の相談役として見守って頂きたいと思っております。



DVT（下肢静脈血栓症）検診に参加して

中通総合病院 久保田 政 昭



岩手県技師会長から応援要請のあった標記検診に、去る9月24(土)25(日)、岩手県大槌町と釜石市に秋田県技師会から8名が参加しました。私（秋田労災の長門さんや他の方も？）は前日の23(金)に盛岡市立病院で開催された「下肢静脈超音波講習会」にも顔を出して、震災以降の検診の概要の説明も聞きました。避難所におけるDVT検診活動報告は盛岡市立の千葉さん（写真2枚目）が、また血管超音波についての講義は弘前の船水さんからそれぞれ詳しく説明していただきました。その後ハンズオンセミナーがあり、50名ほどの参加者が4カ所の装置と講師について熱心に講習を受けていました。

翌朝6:30に病院の駐車場に来てみると、すでに20名ほどの参加者が集まっており、市立秋田の渡辺さんなど秋田県勢は既に集合。機材の積み込み・参加者点

呼の後乗車し、7時に出発。国道396号・283号経由で釜石には9時半頃到着。釜石駅を過ぎて海が見えてくる頃から壊れた車や瓦礫の山、1・2階部分が流されて柱だけになっているスーパー、ゴミを鉄骨にぶら下げた鉄骨だけのビルなどが目に付くようになりました。釜石・大槌共に町の中心地は瓦礫が撤去されて建物の土台と屋上まで波をかぶったようなビルしか見えません。鉄道（JR山田線）も鉄橋の橋脚しか残っていないようでした。大槌町に入り、大槌川に沿って上って行ってもしばらくは被害に遭った家屋がありましたが、山間に入っていくと仮設住宅が目につくようになりました。もともと平地の少ない三陸ですから、稲刈りを待ったんぼの間に点々と仮設を作る事になるので、被災者が多い地区では仮設団地の数が多くなるわけです（大槌町の地図では40箇所ほどありました）。



午前の会場となる、大槌第5仮設団地のサポートセンターに到着、直ぐに設営開始。そこへ榛沢



先生登場。先生と千葉さんの指示でエコー班は廊下のような所で6台のメーカー・機種異なる装置（日立アロカ・東芝Viamo・GE LOGIQe・ソノサイトMicroMAX）を設置。2～3人ずつ分かれて検査に入りました。検診は問診→採血→エコー→Dダイマー結果記入→弾性ストッキング指導→結果説明の順で実施。12時受付締切で20数名に実施。途中で2台撤収したので1台当たり5～6人？

昼食は各自で手の空いた者からバスの中で。ゆっくりする暇なく次の会場へ移動。午後はチーム青森と榛沢先生のグループは別働隊になるそうで、バスがやっとの道を時々対向車も来るし仮設住宅に入る道はあぜ道に鉄板を敷いただけの所だったり、川の対岸にも会場があるので数少ない橋はバスが通れない狭さだったり、目的地がよく分から

ず行き過ぎてUターンしたりと運転手も大変。

やっと到着した古い体育館は前日まで前の道が川だったのよ、と云う近所の方もいて、床上浸水(台風 15号)の掃除の真最中で使えません。体育館の管理者の方のご厚意で急遽近くの弓道場を借りて検診開始。ここのエコー担当はほとんど秋田班(写真上)でした。受付15時締切で8名?また撤収し次へ移動。別働隊が人手足りない連絡あり、私と長門さんで向かい、落ち着いたところでまた移動先へ合流したりして、行ったり来たりが多く、装置の撤収とスタンバイにはかなり慣れました(笑)。チームが何カ所かに分散したので情報伝達と移動の指示で榛沢先生・佐々木先生・千葉さんは大車輪でした。



大槌町小槌第5仮設団地Bの検診が終わる頃雨になり、夕暮れも迫ってきました。山間部なので日が暮れると暗い上に道が狭く街灯もないので移動が危険になるということです。その後町の南側の仮設に別働隊の撤収に行きました。今日は全部で80名ほどの受診者だったとのこと(多い時は1日200名だった!)。榛沢先生(写真下左)や盛岡市立の佐々木先生(同右)の労いのお言葉をいただき、バスに乗り込んだのが18時半頃、このままでは盛岡21時過ぎるし、秋田へ帰り着く頃には日付が変わってしまう!



帰りにトイレ休憩したコンビニで夕食を買い込むスタッフも多く、その後皆さん疲れて白河夜船のようでした。運転手の奮闘で何とか病院に21:10到着、千葉さんの「お疲れさまでした、明日担当の方はまたよろしくお願いします。」で解散となりました。いやぁ疲れたぁ〜(笑)。

今回はわずか1日の検診お手伝いで大した事は出来ませんでした。震災直後から活動している方々と一緒に活動したこと、被災の現場を目の当たりにしたことなどこの歳になっても勉強になる事は多いのだと実感しました。当日参加された秋田労災の長門さん、市立秋田の渡辺さん、平鹿の吉田さん、仙北の滝さん、翌25日参加の佐藤会長、仙北の藤田副会長、市立秋田の小林さん、皆さんお疲れさまでした。

榛沢先生、チーム青森と盛岡市立の皆さんの活動には本当に頭が下がりました。ご一緒させていただいたことに深謝いたします。盛岡市立の千葉さん、お世話になりました。また、機会を与えていただいた岩手・秋田の技師会長さんにも感謝いたします。また機会がありましたら、声をかけていただきたいと思います。今回行かれなかった方も、参加してみてください。得るものはきっとありますよ。



24日参加(大槌)チーム



25日参加(釜石)チーム

第35回 秋田県医学検査学会

学会テーマ

「東日本大震災を経験して」



秋田ふるさと村『県立近代美術館』(横手市)

多数のご応募ありがとうございました!

開催日 : 平成23年10月22日 (土)

会場 : 横手セントラルホテル

学会長 : 佐藤 寛

実行委員長 : 武石 茂美 (平鹿総合病院)

学会事務局 : 平鹿総合病院 臨床検査科内

TEL 0182-32-5121

FAX 0182-33-3200

編集後記



今年平成23年は、3月11日の東日本大震災という大災害が起きた年として忘れる事が出来ない年になる事でしょう。被災地の復興が速やかに進む事を祈りたいと思います。秋田県臨床検査技師会でも、3月に予定されていた平成22年度第2回通常総会が延期され、5月の平成23年度第1回通常総会と同時開催となるなど大きな影響を受けました。

このような大変な時期に選任された佐藤新会長はじめ新役員の皆さんは大変ご苦勞の多いスタートとなった事と思います。今後はみんなでもり立てて行きたいものです。(佐藤義暢)